

日時： 2019年1月16日(水) 10時05分～13時30分

場所： 国際文献社江戸川橋会議室

出席理事：久保英也(会長)、村山武彦(副会長、事務局長)、李泰榮、小野恭子(Skype参加)、大沼進(Skype参加)、岸本充生、藤井健吉、米田稔(Skype参加)

出席監事：近本一彦

1. 理事会の成立

久保会長より理事の過半数の出席を得て理事会が成立することが宣言された。

2. 前回議事録の確認

久保会長より議事録案の説明があり、承認された。

3. 報告事項

(1) 会員の異動および会費納入状況

村山事務局長より書面にに基づき報告があった。

(2) 委員会等の活動

1) 編集委員会

米田理事より、書面にに基づき東アジアリスク会議、福島大会、一般投稿の状況等について報告があった。フリーアクセス、電子ジャーナル、オープンアクセスの方向について、次回の理事会で具体的に検討することを確認した。

2) 情報管理委員会

李理事より、書面にに基づき報告があった。総会を含めた議事録を掲載していくことを確認した。

4) 国際委員会

藤井理事より、書面にに基づき報告があった。

5) 表彰委員会

神田理事作成の書面を村山事務局長より紹介された。大会優秀発表賞については対象をポスターのみに限定して事前に評価し、大会1日目に表彰する方向で検討をお願いすることとなった。

6) 広報委員会

小野理事より書面にに基づき説明があった。学会誌を電子化する場合の具体的な検討を進めることとなった。

(3) その他

1) 日本学術会議安全工学シンポジウム2019運営委員会の進捗報告

藤井理事より書面にに基づき報告があった。開催時期が春季シンポジウムと近いいため、両者の関係を整理することを確認した。

2) メール審議事項の確認

次の事項について確認した。

- ・著作権協会への委託関係
- ・京都大学リポジトリへの論文登録

4. 審議事項

(1) 中期戦略の関連

国内学会の組織見直しを含めた国際学会との関係について、村山事務局長より書面に基づき説明があった。SRA Asia の具体的な体制が固まっていないことから、国際学会との関係については当面現状維持とすること、国内学会の和文名称の変更について、必要性や必要経費、手続き等の議論のための材料を整理することとなった。

また、学会誌の電子ジャーナル化等の扱いについては、編集委員会と連携を取りながら、進めることになった。

(2) 2019 年度年次大会開催日程

村山事務局長より、11/22(金)、11/23(土)、11/24(日)で行う予定であることが提案され、承認された。今後、メールニュースを通じて会員に伝えることを確認した。

(4) その他

久保会長より、リスク学事典の編集状況について報告があった。

(5) 次回の日程

今回は、3/5(火)、3/6(水)、3/7(木)の午前中を候補として調整することとなった。

以上

議事録署名人 (署名) _____ 印

議事録署名人 (署名) _____ 印